平成16年度ホタテガイ採苗情報（第４報）

平成１６年５月７日
発　行：岩手県水産技術センター
協力機関：沿岸地方振興局水産部

「県中南部では、多数の付着稚貝が確認されています。」

1　ラーバの出現状況

５月６日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、200μm未満が９個/トン、200μm以上が 10 個/トンと、前回調査時（合計 25 個/トン）より減少しました。

なお、調査時の水深 10m層の水温は7.5℃と、前回調査時より 0.7℃低下し、平成９～15 年の平均値より 1.2℃低めの値となっています。

2　試験採苗器による付着稚貝調査

５月３日以降の調査において、宮古、釜石および大船渡地区の各定点で付着稚貝が確認されました。

釜石地区の片前と唐丹では、400 個/袋以上の稚貝が付着していました。

なお、唐丹湾では、付着稚貝の約６割が付着直後の個体でした。

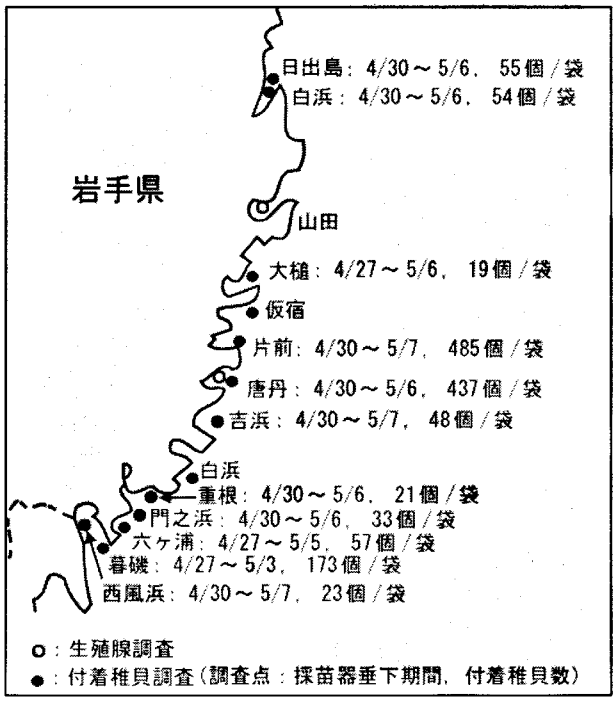

図　調査点と付着稚貝調査結果

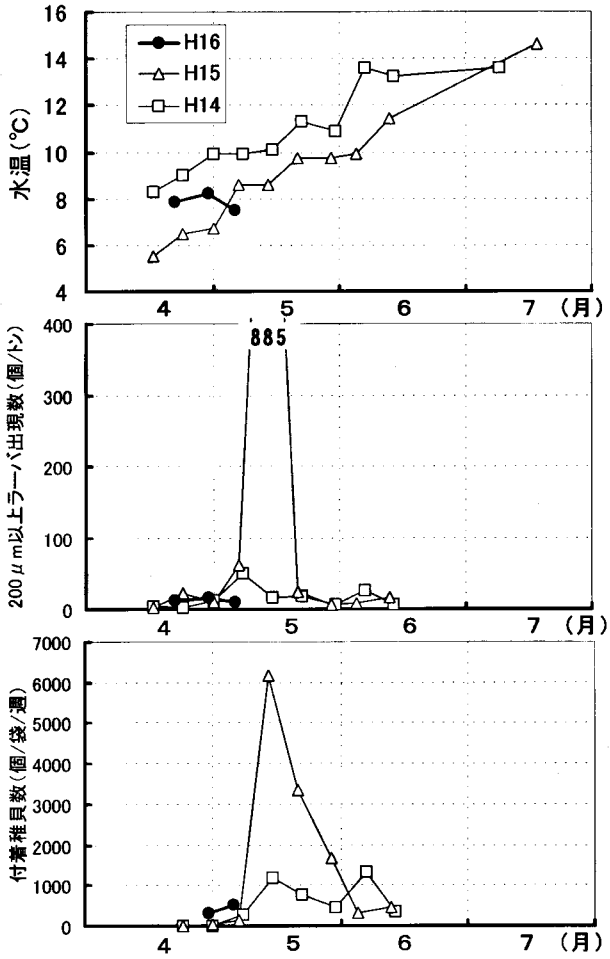

図　唐丹湾における水深 10m層水温と
ホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

県中南部では、大型のラーバと付着稚貝が確認されています。

しかも、付着直後の稚貝が多数確認されていることから、稚貝の付着は続いているものと考えられます。

次報は、５月 14 日頃発行する予定です。